

2024年8月30日

各 位

会社名 株式会社サイフューズ  
代表者名 代表取締役 秋枝 静香  
(コード番号：4892 東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 経営管理部長 三條 真弘  
<https://www.cyfusebio.com/contact>

## 2024年12月期 第2四半期決算に関する質疑応答集

当社の2024年12月期 第2四半期決算に関しまして、株主、投資家などの皆さまからいただいたご質問および当社からの回答につきまして、主なものを以下の通りお知らせいたします。

本開示は市場参加者の当社に対するご理解を一層深めることを目的として当社から情報提供を行うものであり、当社の判断において一部内容・表現の加筆・修正等を行っております。

なお、本開示は、現時点での情報に基づいて当社回答を取りまとめたものであり、当社の現在の見通し、予想、計画等を含む将来に関する記述が含まれておりますが、実際の進捗、将来の出来事等に照らして、様々な要素によって変動する可能性があることにつきご了承ください。

### 1. 2024年中間期の実績の内容と販管費の進捗、下期へ向けての見通しについて教えてください。

- ・ 上期につきましては、今般の再生医療等製品開発及び3D細胞製品の開発が順調に進展していることに伴い、新規の受注が増加する傾向が継続しており、3D細胞製品に関する各種受託及び関連消耗品の販売等の売上げが堅調に推移いたしました。
- ・ 下期につきましては、引き続き各種開発の順調な進展をベースに、3D細胞製品に関する各種受託及び関連消耗品の販売等が堅調に推移していくと見込んでおります。
- ・ 販管費につきましては、概ね計画通りに推移（支出）しております。下期につきましては、臨床試験に関連する研究開発費の支出が、今期末から来期上半期にかけて増加していく見込みです。

### 2. 2024年中間期までの再生医療等製品上市に向けた事業化活動の進展状況と今後の成長戦略における位置づけ・評価について教えてください。

- ・ 現時点（2024年中間期）は、当社の中期計画における「成長期」にあたるステージです。当社の再生医療等製品の上市等により収益のスケールアップを見込む拡大期に向けた地固めの期間の位置づけです。
- ・ 本成長期は、将来の再生医療等製品の製造・販売へ向けた先行投資を進め、着実に製品上市につなげるための重要な期間であることから、特に、①各事業領域の強化及び②パートナーシップ戦略に基づく製造販売体制構築に注力する計画です。
- ・ このような位置付けにある2024年中間期において、世界で初めて実際の患者さまへ移植を行う臨床試験に成功したことは、将来の再生医療等製品の製造販売承認取得の蓋然性が大きく高まるものと考えております。

- ・ また、創薬支援領域において、ヒト 3D ミニ肝臓の引き合い増加に伴い、販売提携会社が増加していること、また、デバイス領域において、バイオ 3D プリンタの販売や将来の商業化を見据えた新技術開発が進展したことなどは、複数領域における多様な収益構造の構築及び将来の収益向上につながるものです。
- ・ 以上のように、成長期における注力ポイントに対して着実に成果を積み上げ、再生医療等製品上市に向けた事業化活動を加速し、拡大期の成長基盤構築を目指してまいります。

**3. 臨床開発が順調に進捗していることやパートナー企業との新技術開発に成功したこと、開発プロジェクトに対して助成金・補助金等の事業採択を受けるなど、様々なリリースを出されていますが、今後の中長期的な企業価値向上や将来の業績にどのような影響をもたらすと理解すればよいのでしょうか。**

- ・ これまでの治験の成果や臨床開発に関連する事業採択等の順調な進展は製品上市の確実性を高めるものであり、また、ヒト 3D ミニ肝臓のような新製品の販売は、事業領域の拡大を通じて収益構造の多様化が進んでいることを示すものであります。さらに、新規の研究開発や技術開発に対する行政や外部専門機関からの事業採択は助成金・補助金の獲得を含め当社の事業価値及び将来の収益性の向上に資するものです。
- ・ 当社事業は、これらの各事業領域が相関して成長していくものであるため、領域ごとや年度ごとではなく、成長期全体を通じてご評価いただきたいと考えております。

以上